

## 京都サンガ応援交流事業

7月14日(日)令和6年度京都サンガ応援事業として浦和レッズ戦に参加させていただきました。応援参加者126名の方、大変ご苦労様でした。貸切バス3台で、行かせてもらいましたが、あいにくの雨で、乗降は大変でしたが、事故なく終えることができました。浦和レッズ戦とあって今期最高動員人数の18,730名の観客でした。応援も大変熱狂的なもので、感心して見させていただきました。結果は、引き分けでしたが、楽しく過ごさせていただきました。(岩間和博)



発行日:令和6年10月15日

# 馬路町自治会だより

## 第35号

発行者:馬路町自治会 亀岡市馬路町流川2-1(TEL:0771-22-0661) ホームページ <https://umaji-cho.com> 印刷:(株)天声社

## 丹波NEW風土記の里整備構想促進協議会総会

7月13日(土)馬路生涯学習センターにて「丹波NEW風土記の里整備構想促進協議会」総会が開催されました。

一部総会では、令和5年度の事業報告及び決算の承認。令和6年度の事業計画及び予算の承認、事業としては①史跡丹波国分寺跡の整備促進など整備構想の具現化、②まほろば・亀岡かわひがしウォークラリー、③まほろば・亀岡かわひがしフォトコンテストが行われます。

二部特別講演では、「江戸時代の川東地区、古文書から読み解く」と題し、京都府教育庁指導部文化財保護課主任 稲穂将士さんに講演をいただきました。川東は様々な領主が存在する地であったことや、村間の紛争の古文書が紹介されました。(中澤嘉夫)



あついで  
自治会長  
中川 徹

連日、35度を超える厳しい暑さの夏がようやく終わり、朝夕は秋の涼しさを感じる季節となつてまいりました。馬路生涯学習センター玄関の鈴虫の涼やかな鳴き声がひとときの安らぎを感じさせてくれます。季節の変わりめは体調を崩しやすい時期でもあります。くれぐれも健康管理には御注意ください。今年、パリでオリンピックとパラリンピックが開催されました。開会式では日本選手が晴れやかに行進し、様々な競技で活躍された選手の姿が今も目に浮かんでいきます。選手の笑顔に元気をもらい、悔し涙に胸を打たれました。競技人生を懸けて戦った選手の姿はとても美しく感じましたし、最後まで諦めず、できることをやり抜くことの大切さを改めて学びました。これからの自治会活動や人生にとって背中を押される感じでありました。さて、今、亀岡市立川東保育所の新しい園舎の建築に向けた取り組みが進められようとして

います。川東保育所は、昭和32年4月に開設され、昭和50年に園舎が全面改築されました。その後、50年近くが経ち老朽化が進んできていることや耐震化対策を図るため、園舎の改築が必要になっていきます。こういったことから、平成29年8月4日に、川東保育所保護者会と川東4町自治会(旭町・千歳町・河原林町・馬路町)が桂川市長あてに「園舎の早期改築に関する要望書」を提出しました。その後、地域こん談会において早期実現の要望を続けてきておりましたが、ようやく亀岡市から要望書に沿って進めていきたいとの連絡をいただき、保育所整備に向けてのスタートを切ることができてきたところです。新園舎の建設、開園までには数年かかりますが、子どもたちが快適で、喜び、豊かな成長を育むことができる新しい川東保育所の開園に向けて取り組みを進めてまいりますので皆様のご理解とご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

## 馬路町いまだきトピックス このひと・このまち

今回号では「世界に誇りうる馬路の砥石」を紹介します。

天然砥石は世界でもめずらしい研磨材で、他に類をみない京都の特産品です。

亀岡市では約1億5千万年前の地層から産出される中砥「丹波青砥(たんばあおと)」や約2億5千万年前の地層から産出される仕上砥「合砥(あわせど)」などが採掘されています。今ではここ亀岡が「天然砥石の聖地」とも呼ばれ又数少ない貴重な産地となっており、質や砥石幅の広さなどから大変高い評価を得ています。

その中でも馬路財産区管理会が管理する大平山から産出される「本山(ほんやま)と呼ばれる合砥」が最高級仕上げ砥石と認められています。

採掘が始まり200年以上が経過、今では京都伝統産業の指定も受け、刀剣工芸品等を支える大変貴重な産品となっています。

森のステーションかめおか内に「天然砥石館」があり、馬路生涯学習センター2階でも展示しています。是非ともご覧下さい。(中澤和洋)



## 編集後記

酷暑、猛暑の中、感動と涙で熱くなったパリオリンピック・パラリンピック“あつい”今夏となりました。今回号は、盛りだくさんの内容になり、ご参加ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。今後も皆さまのご参加お待ちしております。(人見典子)

編集長	中川 徹	馬路町の人口と世帯数		
編集委員長	中澤和洋	2024.09.01現在		
編集副委員長	中澤嘉夫	人口	1,451	
委員	中澤千裕	内訳	男	689
委員	人見真司		女	762
委員	名倉勝香	世帯数	659	
委員	人見典子			



## 今後の行事予定 令和6年10月~令和7年2月

令和6年	10月25日(金)	第2回馬路ふれあいサロン
	10月27日(日)	町内空缶収集等一斉清掃 [雨天11月24日(日)]
	11月10日(日)	第34回馬路町文化祭
	12月1日(日)	馬路町自主防災会防災訓練
	12月6日(金)	第3回馬路ふれあいサロン
	12月7日(土)	馬路町人権研修会
	12月25日(水)	馬路町防犯推進委員年末警戒 年末特別警戒
	12月28日(土)	(自主防災会・防犯推進委員馬路支部) 年末特別警戒(消防馬路分団)
令和7年	12月28・29日	
	1月31日(金)	第4回馬路ふれあいサロン
	2月2日(日)	町内内溝さらえ[雨天3月2日(日)]

## 川東地区 人権推進協議会総会

6月14日(金)亀岡川東学園講堂において、川東地区人権啓発協議会総会並びに研修会が行われました。

研修会では、最初に車椅子シンガーソングライターの関本泰輝さんの母里絵さんの講演をお聞きしました。ハンディキャップのある双子の兄弟の子育ては、私たちの想像を越えるご苦労があったことでしょう。またその後に行われた泰輝さんのミニライブでは優しく澄んだ歌声に会場全体が魅了されました。夢に向かって前向きに明るく生きておられる姿に感動しました。(中澤千裕)

